



結小だより

- ★自分で学ぶ子
- ★仲よく助け合う子
- ★自分できたえる子



「スピードアップ」で育てる力

校長 中野 由美

今年度、結小学校は「スピードアップ」「ボイスアップ」「フェイスアップ」の3つのアップをめざしています。4月は特に「スピードアップ」の意識が高まるよう、教師は授業開始や終了の時刻を守ることを心がけました。その緊張感によって、子どもたちの動きにも良い変化が生まれてきています。授業時刻以外では、特に給食準備時間が早くなりました。昨年度までは、授業後10～15分で「いただきます」をしていた子どもたちですが、今では5～10分でできるようになっています。



私は、時間が早くなったことだけを認めるのではなく、なぜスピードアップができているのか、その背景を自覚させることが大切だと考えます。例えば、

- ・給食当番が事前に役割分担をしっかりと責任感をもって動いていること
- ・学級の一人一人が見通しをもって動いていること
- ・給食当番以外の子が協力できることをはっきりさせていること

また、時間が早くなったことでよかったという実感を持たせることも、大切にしたいことです。子どもたちからは、

- ・みんなで協力して、目標時間までにできてうれしかった。
- ・はじめは他の学級と競争していたけれど、勝った時よりも学級の最高記録を出した時の方がうれしかった。
- ・たっぷり時間をかけて給食を食べることができるからいい。
- ・〇〇さんが素早く動いていたから、すごいと思うし、ありがとうって言いたい。

といった声を聞きました。

このような声を集め、あらためて子どもたちに投げかけることで、個の責任感、仲間との協力や信頼感、学級への所属感なども高めていきたいと思います。

5月は学校生活にも慣れ、4月初めの緊張感がなくなってくる時期です。「慣れ」が「ダレ」にならないよう、一つ一つの行動を認め、背景を価値づけ、「できて当たり前」というところまで高めていきたいと思います。

結ぶ手と手が輪になって ～結小学校の輝き～

4/18
(金)

交通安全教室



警察の指導の下、集団登下校で気を付けることや横断歩道の渡り方などを学びました。交通少年団の入団式も行いました。

地区委員の皆様にもご協力いただき、ありがとうございました。

4/23
(水)

1年生を迎える会



計画委員会や6年生の縦割りリーダーが中心となって、準備・運営を進めました。自己紹介やゲームや学校〇×クイズなどがあり、終わりが近づくと「もっとやりたい」という声が聞こえるほど盛り上がりました。全校じゃんけん列車では、1年生の肩に優しく手をかけ一緒に楽しむ姿がありました。1年生を大切に思う気持ちや、全校のみんなと楽しい学校生活にしていこうという気持ちが体育館中に広がりました。



子どもたちの気持ちが伝わってくる場面：どんな学校になるのかワクワクが止まらない



玄関で朝の挨拶



ボランティア掃除



花壇の草取り



2年生学校案内

【生活委員：明るい挨拶がいっぱいの学校にしたい】

生活委員が毎朝、玄関で挨拶活動をしています。腰をかがめ、相手の顔を見ながら明るく声をかけるので、みんな笑顔で玄関に入っていきます。

【ボランティア：ゴミがないきれいな学校を見てほしい】

授業参観前日は掃除がありませんでした。給食後、校内のあちらこちらでボランティア掃除をする姿がありました。きれいな学校を見てほしい！掃除後は元気に運動場に出て遊びました。

【美しい花がある花壇を守りたい】

休み時間に、当番ではないのに花壇の草取りをしている子がいます。花が好き、きれいな花壇を見ると心が落ち着く、花壇を守りたい、などと言いながら毎日少しずつ草を取っています。

【1年生に学校のことを好きになってほしい】

2年生が1年生を案内して、校舎内を回りました。説明だけでなく、スタンプを押したり、質問に答えたりしていました。「1年生も早く学校を好きになってね」と話す姿がありました。